

宮崎県学生栄誉賞を通信工学科3年 山下 大翔君が受賞！

10月21日（火）、本年1月に開催された「ジャパンマイコンカーラリー2025全国大会 Camera Class」での優勝を評価いただき、河野俊嗣知事より令和7年度第1回宮崎県学生栄誉賞を授与されました。（今回は30の個人・団体が表彰されました）

授与式後、文化・学芸部門の受賞者を代表し、謝辞を述べる機会をいただきました。謝辞では、活動の指針としてきた通信技術部の10か条のうちの一つ『落ちたら終わりじゃない、諦めたら終わり』という言葉に触れ、「失敗は決して終わりではなく、むしろ成功へのカギを握る重要な経験であり、限界と決めた瞬間に成長は止まるという真理を私に教えてくれました。この賞にふさわしい、たくさんの人に応援していただける人間になれるよう努力を続けていきます。」と、関係者の皆様への感謝と今後の抱負を知事の前でお伝えしました。



佐土原高校通信技術部 10箇条

- (1) ネジの緩みは心の緩み
- (2) 練習で100回に1回おこる失敗は、本番で必ず起こる
- (3) 練習で不安な部分は、本番で必ず不具合がでる
- (4) 毎日0.01秒速くなれば、1年で3.65秒速くなる 日々コツコツ！
- (5) 走りの様子を必ず動画で撮れ、撮らないときに限って脱輪して解析できない
- (6) 相手と比較するな、昨日の自分と比較せよ。そうすれば自ずと速くなる
- (7) 失敗をしない人間は、何もしていないだけだ
- (8) できるかできないかではなく、やるかやらないかである
- (9) 答えはあるものでも見つけるものでもない、自ら創り出すものだ
- (10) 落ちたら（脱輪したら）終わりじゃない、諦めたら終わり

